

くまもと県振連だより

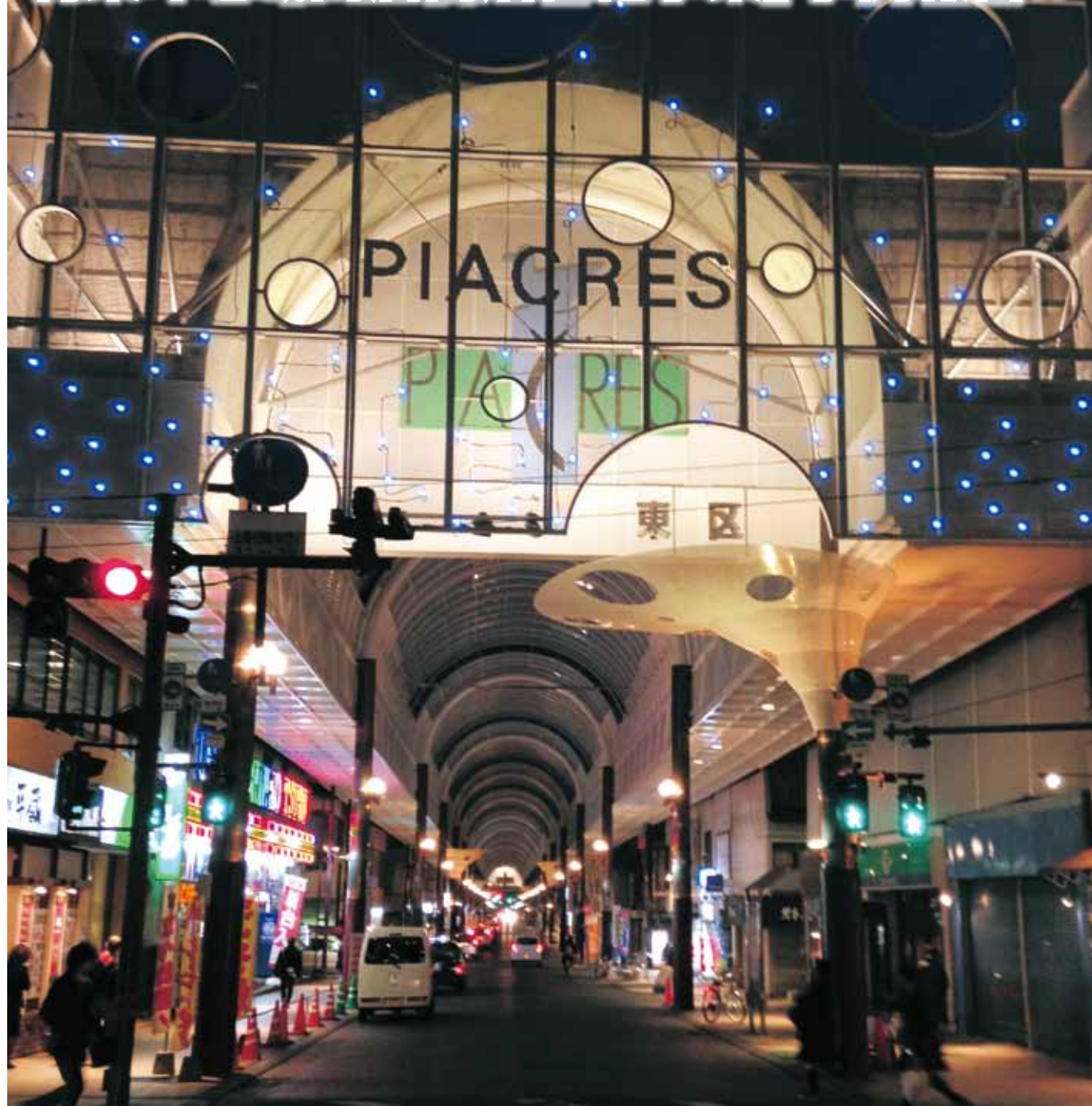
タミアス Ταμιας

Vol.
45

2014.3

「タミアス」はギリシャ語で「店主」の意味。「くまもと県振連＝熊本県商店街振興連合会」は店主の元氣をつくる組織です。

特集:「地域商店街活性化事業」事例報告!!



健軍商店街!! 明るくリニューアル!!

ポリカーボネート取り替え及び塗装・LED照明工事・
防犯カメラ設置工事完了!!

任期後半2013年！



4月で1期2年の任期が終了いたします。

任期前半は慣れない事ばかりで、副会長・理事・会員組合店の皆様と事務局にはたいへんご迷惑をお掛け致しました。

後半の2年目は何と云っても、安倍首相のアベノミクスです。

第1の矢・金融政策、第2の矢・財政政策と景気対策を矢継ぎ早に打ち出して我々商店街にも景気回復の期待を大いに抱かせてくれました。

私どもへは従来の実践活動補助金（上限100万円）がにぎわい補助金（400万円）に拡充されて県振連が窓口となり潤沢に資金が提供されました。熊本県で約60件、金額で2億円が採択されて事業が実施されております。当組合の会員様以外の任意組合様の応募も多く、一緒に「商店街の日」を開催できたことを大変うれしく思っています。この輪を少しずつ大きくして熊本県の商店街のために尽力していききたいと思います。

通常の仕事以外に1年を通してこれだけの仕事量を事務局の山田由美子さんが、一人で頑張って親切に対応をさせていただいたことに深く感謝しております。2014年度も商店街の活性化のための予算が付き、補助金の募集を今もやっておりますので、日頃出来ないことに使って下さい。

補助事業の内容も様々ですが、この補助金は云わば「ボーナス」。いつまでも潤沢にあるわけではありません。消費税の引き上げによる腰折れ対策でもあります。この時期に補助金を通して「人間力」に磨きをかけ、自店の一番商品・サービスを充実させて商店街の活性化に取り組んでいただきたいと思います。今後とも皆様方のご指導とご鞭撻をお願いいたします。



熊本県商店街振興組合連合会
会長 山田 哲大

タミアスレポートⅠ

平成25年度 商店街女性部活性化事業女性部研修会

1. 日 時：平成26年1月23日（木曜日）
2. 場 所：セレクトロイヤル八代（〒866-0861 八代市本町2-1-5 Tel.0965-34-1111）
3. 講 師：熊本県倫理法人会 普及拡大委員長
株式会社 八代プレハブ 代表取締役 満岡 泰 氏
4. 演 題：人生は今日がはじまり

言葉の力、心の中で強く思う事、良い言葉を話す、目標達成にはついてる、その結果何事も付いてくる 明るい言葉、感謝の言葉、笑顔、約束は守る、何事も実践して伝える、当たり前ですがつい忘れがちです～今一度原点かえり反省して（人生は今日がはじまり）心の中に受け止めて前向きに行動あるのみだと思います。



熊本県商店街振興組合連合会
女性部長 久木田 秀子



セレクトロイヤル八代にて女性部研修会！

講師の言葉紹介します<打つ手は無限>素晴らしい名画よりも、とても素敵な宝石よりももっとも大切なるものを私は持っている。どんな時でもどんな苦しい場合でも愚痴を言わない。参ったとき泣き言を言わない。何か方法はないだろうか。何か方法はあるはずだ。周囲を見回してみよう。いろんな角度から眺めてみよう。人の知恵も借りてみよう。必ず何とか、なるものである。なぜなら打つ手は常に無限であるからだ。少しでも参考にしていただければと思います。忙しい中沢山参加頂き有難う御座いました。

タミアスレポートⅡ

平成25年度地域商店街活性化事業 事例報告

商店街名	熊本市下通新天街商店街振興組合
事業名	肥後のつりてまり オープンワークショップ
事業実施期間	平成25年7月23日～平成26年1月3日

下通（新天街）商店街で開催されたオープンワークショップは、開始1時間前より長蛇の列ができ、想定しない交通整理に追われる混乱の中、予想定員30名を大幅に超えた列を、申し訳なくお断りするところから、ご案内が始まった。熊本県指定の伝統工芸品である“肥後てまり”を見て楽しむだけの手まりから『体験できる』という場を商店街に



オープンワークショップ 来街者参加型

提供することで、開催前から組合事務所への問い合わせが多く、混雑の対処方法を事前に準備しておく反省もあった。

オープンワークショップはNHKの取材を受け、先着順から受講を得た参加者が、色選びから手まりを完成するまでの経緯が撮影され、最後には完成した肥後てまりを吊りさげるセレモニーまで収録された。これは全国ネットで放映される予定である。

連休中と相まって、商店街はオープンワークショップ効果と、同時開催のつりてまり展示によって一般客も多数ご来街され通行量が増え大変好評であった。



下通新天街商店街（振）
事業実施担当者 木下 修

商店街名	熊本市下通二番街商店街振興組合
事業名	モバイル（スマートフォン）活用促進による店舗の魅力発信力強化事業
事業実施期間	平成25年6月11日～平成26年1月31日

一定期間、実際に各組合店がモバイルを利用して顧客を呼び込むキャンペーンを行うことで、各組合店の情報発信力強化を支援する「店舗魅力情報発信力強化事業」を実施した。具体的には、ある程度まとまった数の店舗にて一斉に、今日覚しい発展を遂げている、モバイルソーシャルメディアである「LINE@」アプリを導入し、半年間試験運用を行った。同時に、外部コンサルチームによる導入・活用セミナー及び個別相談会を実施し、導入時の個店情報の作り込みに関してもライター等専門家による制作支援を行った。また、商店街全体の取り組みとして各種イベントやホームページを利用したPRを実施し、「モバイルが使えるお得な商店街」として、お客様へ広くアピールすることで、より効果的に組合個店の集客につながるよう後方支援を行った。

- ① LINEの一斉試験導入
- ② モバイルアプリ活用研修事業
- ③ 組合個店の魅力情報整備事業
- ④ モバイル利用促進のPR事業
- ⑤ 事業効果集計測定



下通繁栄会
事業実施担当者 桑本 知明



Line@の看板がずらり！ モバイル利用の下通！！

商店街名	熊本市下通三番街商店街振興組合
事業名	下通まちなかインフラ整備事業
事業実施期間	平成 25 年 10 月 12 日～平成 26 年 2 月 6 日



下通繁栄会
事業実施担当者 前原 孝志郎

下通三番街（下通繁栄会）のスローガンである『ひとにやさしいまちづくり』もう一度念頭に置いて、既存事業を見つめ直し整備するとともに、新規事業を展開する事で来街者の増加に貢献した。現在継続的に実施している「提携駐車場・組合店でのベビーカー車いすの無料貸し出し」や、昨年試験的実施の「子ども一時預かり補助券発行事業」「熊本市と連携した子育て施設の街内PRブース設置」「高齢者向けの血圧測定・アンケート意見徴収」「組合店スタッフ向けの緊急時ファーストエイド講座（緊急時心肺蘇生講座）」「親子参加型のイベント」などの事業の拡充と中心市街地としての環境整備を目的とした事業を平成 25 年度は実施した。

- ① 近隣の家族連れ・チームパラダイスによる地域環境調査会
- ② 各番街に普通救命士および上級救命士を配備
- ③ マチナカレスキュー事業（ファーストエイド講座）
- ④ 福祉子育てガイドブック制作事業



ファーストエイド講座



親子参加型のイベント

商店街名	熊本市下通四番街商店街振興組合
事業名	下通インフラ整備マーケティング事業
事業実施期間	平成 25 年 12 月 14 日～平成 26 年 2 月 6 日



下通繁栄会
事業実施担当者 長江 浩史

郊外型ショッピングモールの乱立や、九州新幹線開通により、県外へ顧客の流出が増加している。中心商店街のお落ち込みを打破するため、購買する方々の年代・購入商品などの消費動向のマーケティング、並びに日常の消費を商店街にて行う

全県の方を対象にしてインターネット調査を行った。

その他、調査条件に適合する方々にお集まりいただき、座談会形式の調査を実施した。

調査後の結果は全て数値化し、各組合店にて報告会・勉強会を踏まえ、中心市街地としてのサービスの共通見解を図った。

- ① インターネット調査
- ② 座談会形式調査
- ③ 専門家による調査内容を踏まえた勉強会



マーケティング調査を踏まえての勉強会

商店街名	健軍商店街振興組合
事業名	鹿屋体育大学の協力支援による貯筋運動事業
事業実施期間	平成25年9月12日～平成26年1月31日

当商店街では、少子高齢化や地域のニーズに対応した事業として「医商連携型まちづくり事業」を行っており、更にこの事業を推進した個店の売上げ等に繋げるため、平成25年度は鹿屋体育大学の協力支援を頂き「貯筋運動」を実施する事となりました。この「貯筋運動」は平成21年より鹿屋体育大学の「貯筋研究プロジェクト研究室」で研究された運動で、簡単な運動を継続して行い筋力を付ける事で転倒防止や寝たきり時の筋力低下を抑える効果があると言われています。



健軍商店街(振)
理事長 釘羽 逸朗



貯筋運動で、筋力つけてクーポン券と交換!!

そこで昨年9月、介護事業所や行政、地域の社会福祉協議会などに呼びかけ鹿屋体育大学の川西教授の講義と実技を68名の参加のもと開催、11月にはフェスティバルにおいて一般向けに実技指導をして頂き大変好評を得ました。以後毎週木曜日午後2時から「よって館ね」で「貯筋運動」を実施しています。商店街では、毎日行った運動(1種類100円で5種類500円)の金(筋)額を貯筋通帳に記入し、貯まった金(筋)額(20,000円)によって個店のサービスクーポン券と交換するシステムをとっています。今後この「貯筋運動」を多くの地域住民の方々に行って頂く事により活性化に繋がると考えています。

商店街名	熊本市上通町三・四丁目商店街振興組合
事業名	上通スタンダード事業
事業実施期間	平成25年8月8日～平成26年2月12日

「大好きな上通を、さらに魅力的で華やかな商店街にしていきたいね」
「そのために、自分たちにはどんなことが出来るだろう?」
上通の若手経営者や後継者、ビルオーナーの、そんな会話の中からスタートしたのが「上通スタンダードプロジェクト」です。



上通町三・四丁目商店街(振)
事業実施担当者 長崎 健一



商店街の未来の為にミーティング中!!

商店街と家業の未来に真剣なチームメンバーによって、2013年度に数か月の間ミーティングとワークショップを重ねてまいりました。それらに東京研修における企業視察の成果を加えたものが、10か条からなる行動指針。つまり「上通スタンダード」という大きな矢印です。

この「上通スタンダード」を軸に、商店街で働く皆さんと一緒に学び、交流していきたいと考えています。本プロジェクトの合言葉は、<みんなで・楽しく・真剣に>。2014年度は一流の講師陣による「上通スタンダード大学」を毎月開催し、商店街で働く人と店舗の魅力向上を主眼に、中長期的により華やかで愛される上通商店街を目指します。

商店街名	熊本市上通五丁目商店街振興組合
事業名	上通うわさプロジェクト
事業実施期間	平成 25 年 10 月 21 日～平成 26 年 1 月 15 日



熊本市上通五丁目商店街(振)
事業実施担当者 田原 誠也

うわさプロジェクトは、今まで上通に在りながら一度もコラボしてなかった現代美術館と、何かやろうよ、というのがきっかけで始まった。このプロジェクトは、青森県八戸市出身のアーティスト、山本耕一郎氏を招き、上通、現代美術館と共に、人と人の絆をつなぐプロジェクトである。既に東日本ではいくつかの商店街で行っていたらしいが、西日本では初である。上通のお店、働いている人の自慢話、趣味、



来街者にうわさバッジを配布

最近嬉しかったこと等を吹き出し型のシールにして張り出すことにより、アーケード、店、人、来街者との新たなコミュニケーションが生まれるプロジェクトである。春から季節毎のイベントに、うわさバッジを来街者に配布したり、夏は、城東、碩台、壺川の3小学校の生徒たちに白いうちわに絵を描いてもらって、それを来街者に配布する代わりにもらった人のメッセージを生徒たちにお返しして、人と人の絆の糸をたぐりよせる、そんな印象を持つプロジェクトだった。

商店街名	子飼繁栄会商店街振興組合 子飼商店街振興組合
事業名	平成 25 年度子飼商店街活性化事業
事業実施期間	平成 25 年 7 月 1 日～平成 26 年 1 月 31 日



子飼繁栄会商店街(振)
理事長 高光 守康

事業名：子飼中元大売出し

商店街への集客、さらには客単価をアップさせるためにも、買い物額に応じた抽選会を行った。イベント期間に合わせて氷柱の設置や、風鈴の装飾、また休憩スペースを設けることで、昨年よりもイベントの充実を図り、集客に繋がった。

事業名：子飼満腹王国

「食」をメインテーマに商店街全体でイベントを開催。さんまの塩焼き、石焼き芋、大鍋ふるまいなど毎年開催しているが、今年は「NPO法人UDくまもと」と連携をし、「子飼どんぶり」や、買い物弱者の方のための休憩所「子飼カフェ」などを開催し、本事業の充実を図った。

事業名：子飼歳末大売出し

年末商戦において、歳末イベントを実施。商店街内で、設定金額以上の買い物をされた方に、応募券を配布。応募券2枚で抽選会に参加して頂き、賞品を準備した。

今年は、事前会議に商店街の女性部も参加し、お客様目線での賞品の充実を図り、更には今まで行っていなかった広報も行うことで、今まで以上の集客に繋がった。



子飼どんぶりはいかが!!



子飼満腹王国に長蛇の列

商店街名	本町2丁目商店街振興組合
事業名	本町2にぎわい益々事業
事業実施期間	平成25年7月27日～平成26年2月7日



本町2丁目商店街（振）
事業実施担当者 橋本 京子
〃 弓削 久美子

丁度1年前に本町2丁目おかみさん会で東京ディズニーランドへ旅行をしたことで、「くまモンでポップコーンバケツを作りたい」という思いが生まれたことから全ては始まりました。2丁目にお客様を呼びこむには一体どうすればいいのか、と常日頃より思案している中、ディズニーランド



のポップコーンバケツの存在は大きなヒントになったのでした。くまモンポップ

コーンバケツは「商店街でしか手に入らない」という括りを設け、ネット販売は一切行わず、発送もしません。欲しい方にはわざわざ足を運んでもらう、という手法をとりました。この事業を実施したことで町内の団結も深まり、関わってくださった方々、購入して喜んで下さったお客様との絆が生まれ、とても収穫の多い事業となりました。

くまモンバケツとポップコーンはいかが～

商店街名	本町三丁目商店街振興組合
事業名	本町3丁目商店街～売上レシートで生活応援事業
事業実施期間	平成25年7月20日～平成26年1月31日



本町三丁目商店街（振）
理事長 沖田 泰助

1年を通して売り上げの向上に繋がる事業を検討し、「売上げレシートで生活応援事業」を実施した。計4回のイベント期間を設定し、お客様にイベントの継続性を実感していただくことで商店街の活性化に繋がった。



商店街で2,000円以上買い物して商品券をGetしよう！

① レシートで生活応援（夏の陣 秋の陣 春の陣）

売上レシート2,000円分を1口として応募してもらい、当選者に3丁目の商品券を渡した。

② レシートで生活応援（年末ガラポン）

年末に2,000円分を1口としたガラポンを行い、景品として商品券を渡し再度の来街機会を設けた。

③ ふれあいサロンの活性化

八代市社会福祉協議会の「いきいきサロン」等で、高齢者の憩いの場として利用されていることから、商店街の情報発信また、高齢者の交流の場として活性化を図った。

商店街名	通町商店街振興組合
事業名	「花と光の共演」フラワーフェスティバル in 通町
事業実施期間	平成 25 年 11 月 1 日～平成 26 年 1 月 31 日



通町商店街（振）
理事長 堀口 晃

「花のアートコンテスト」

市民に広く公募し、先着10名の参加者を募りテーマを設けフラワーアレンジメントを行なった。

「通町ルミナリエ」

イルミネーションを街路樹に飾り、歳末・年始のお客様の誘客を図るとともに夜の街、通町を見ていただいた。期間中サテライトスペースを設置し音楽を楽しんで頂いたり、コーヒーのおもてなしを開催。

「通町3Dプロジェクションマッピング」

八代で初めての3Dプロジェクションマッピングを開催した。フラワーフェスティバルということで花と光の共演を行ないプロジェクターを使い、花の美しさを表現する作品に仕上がった。



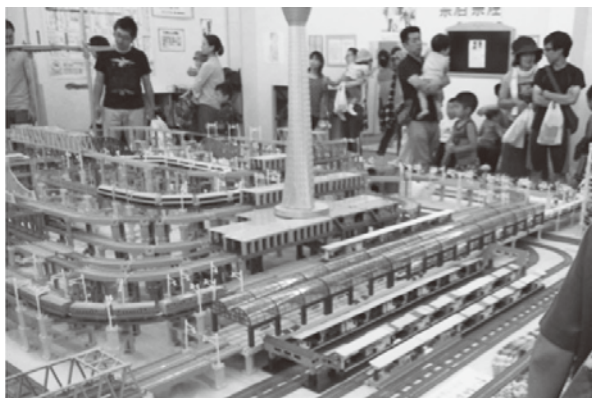
イルミネーションで飾られた通町ルミナリエ 八代発!!! 3Dプロジェクションマッピング

商店街名	人吉東九日町商店街振興組合
事業名	進化し続ける、人吉ふれあい100円商店街！ ～健康・音楽・郷土文化の融合とふれあいを演出～
事業実施期間	平成 25 年 7 月 3 日～平成 26 年 2 月 7 日



人吉東九日町商店街（振）
事業実施担当者 鹿末 秀幸

平成24年7月より実施している100円商店街事業をベースに補助金を申請。申請動機としては、ベースの100円商店街をさらに多くの人に知ってもらう為に補助金を活用、重点的に広報費に約200万を使用し、予告チラシを1ヶ月前に各紙朝刊に折込み、開催日時の告知、イベントの告知、出店協力者の募集を実施。また、地域雑誌広告、地域新聞広告も併せて告知。開催前日には、本チラシを入れイベント詳細、出店品の紹介を実施した。結果、回を重ねるごとに新規来場数は増え費用対効果のある取組みとなった。次に集客イベントとして、子ども＝家族連れを対象に、鉄道模型のプラレール展やポニー乗馬を実施。お客様アンケートでは「また来たい」が90%を超える結果となった。所感として、まずは知らせる事、そして来たいと思わせる事、そして何より、誠心誠意おもてなしの接客をする事。そうすることで、商店街の良さが伝わり商店街ファンが増えると実感した事業であった。



親子で楽しんだプラレール



ふれあい100円商店街

タミアスレポートⅣ

平成25年度 女性部活性化事業交流会

香川県直島視察レポート

〈弓削 久美子〉

今回は、直島に行ってきました。

岡山から在来線とフェリー乗り継ぎで1時間半余り、人口3千人の小さな島です。まず、出迎えてくれたのが、直径3～4mのテントウムシ柄のカボチャのオブジェです。島の数か所に有名な建築家による建物と中には現代アートです。

視察に参加しなければ、私は、直島の地名さえ知らなかったでしょう。でも今回感じたのは、地元でお買物したくても店が無いということです。

外国人も多い中、訪れた観光客を対象にして、行政が主体となった地元密着のリノベーションが必要ではないでしょうか。

〈土師 千栄子〉

一つの島全体を大きなアートとして捉え、過疎化していく島を再び活性化していく素晴らしいプロジェクトは大変勉強になりました。

日本古来の建物と日本及び世界中のアーティストとのコラボレーションしたアートがとても新鮮に感じられました。

熊本市内にも、古民家を移築した、SHOPが色々あり、若い方にも大変人気があります。私もアンティーク好きで、私共のSHOPのディスプレイにも取り入れております。

古い物が、再び光を浴び、現代の人へ、もう一度メッセージを発しているのを見ると、もっと色々なものを大事にそして素敵にディスプレイをし、私共下通アーケード街を訪れてくださるお客様へ楽しさや夢を表現していく仕事をやっていきたいと思えます。

ここ最近、水俣のサミットが開催された前後から、たくさんの外国からのお客様も下通アーケード街を訪れて下さっています。

その方達の為にも、古いアートと現代アートをもっと身近に自分たちのものとし、発信、表現していくよう努力していきたいと思えます。

今回、この交流会に参加させて頂き有難うございました。



本町二丁目商店街振興組合
弓削 久美子



下通繁栄会女性部
土師 千栄子



赤カボチャの前で記念撮影!!



直島観光協会 藤井様より説明

女性部交流会参加者：久木田 秀子 城後 文代 弓削 久美子 橋本 京子 江上 むつみ
長江 由美子 鋤崎 葉子 高柳 和 宇野 千世 土師 千栄子

タミアスレポートⅣ

平成25年度 後継者養成研修事業

日時：平成25年12月10日（火） 15時30分～

場所：くまもと県民交流館パレア9F

講師：株式会社 アフタヌーンソサエティ

代表取締役 清水 義次 氏

演題：「リノベーション」によるエリア再生プロデュース

昨年末、この講義を聞かせて頂きました。「リノベーション」という言葉は、近年耳にする機会が、特に増えた言葉です。

「リノベーション」という言葉の意味は、リフォームより大規模な改修工事のこと。既存の骨格だけを残し、用途や機能を変更して性能を向上させること。具体的には耐震性や耐久性を向上させたり、冷暖房効率を上げたりといった、建築に関わる言葉です。ただ、今回の講義や、私ども商店街に関わる者にとっては、そこに公共性がプラスされるものだと思います。例えば、どこに駐車場があればいいとか、飲食や物販の店、スーパーやデパート、交番や娯楽施設、案内看板や目印となるオブジェ、様々なものの所在です。

今回、この講演をしていただいた清水義次氏によると、街全体として、

- ① 問題のあるエリアの、歴史的な変遷も含めた調査（エリアサーベイ）。
- ② 空き店舗だった場所にインキュベーションスペース(企業家の拠点)をつくる。
- ③ 初期の動き（3～4年）を作るために、テナントと不動産オーナーとの間に賃貸ディベロッパー、企画運営管理チームを作る。

以上のような事が、地域再生に必要なとのこと。②については、空き店舗なので、低家賃で企業家に貸し出せる特別な場所の提供というのが具体例でありました。そして、③については、区分されたエリアの人たち、商店街の人間（組織）が、リスクや役割を分担して継続的に費用負担、管理運用などをしていく（家守チーム作り）が必要であるとのことでした。ここで得に感じたこととして、店主や、この計画を世話する人や企業、団体などの負担がかなりあるというものでした。逆に言うと、大きな負担やリスクを負わなければ、地域再生は難しいということも言えるかと思います。

まちづくりは、まちのコンテンツ作り・・・人、企業、ライフスタイル、スポーツ、芸術、様々なまちの特色を出す。

敷地に価値無し、エリアに価値あり・・・エリアのポテンシャルを読み、不動産オーナーが連携して活用し、価値を維持するためのマネジメント組織を作る

みちの活用・・・歩道と建物内空間との繋がりを形成する。路面を遊び場、居間と考えるストリートライフが楽しいまちにする。

最後まで講義を聞きますと、狭義のリノベーションに限った話でなく、やはり様々な角度から、街を

楽しく、集客を上げるための仕掛けが必要ということ。また、不動産を持っている人たちが、自立して積極的に街づくりすることが肝要だということです。現在、中心商店街に城東マネジメントという、大型郊外店に対抗すべく、中心部の不動産に付加価値をつけるための組織がありますが、これもここで言うリノベーションにあたると思います。より魅力ある街にするため、シャッター商店街にしないために、店主、不動産オーナー、商店街、そして行政がしっかりと連携をとった活動こそが、「リノベーション」によるエリア再生であると感じた次第です。



下通繁栄会青年部長
牧野 伸宣



清水先生によるリノベーション研修事業

いって
みなっせ!

商店街の組合員や青年部、女性部の皆さんが行きつけの
お店を紹介するコーナーです!

その6 「町屋旅館 一富士」

〒868-0004 熊本県人吉市九日町 60
TEL (0966)22-2410
FAX (0966)22-6199
ホームページ: <http://www.1fuji.jp/>



人吉東九日町商店街振興組合
鹿末 秀幸

今回、ご紹介するお店(旅館)は、国宝青井阿蘇神社から中心商店街へ向かい徒歩5分にある**町屋旅館一富士**。数年前に「料理が美味しい宿」として、口コミサイト「じゃらん九州地区ランキング7位」を獲得。味はもちろん、提供時間や料理の温度にこだわり、さらに器まで料理の一部として演出し提供される最高のおもてなしを味わえる旅館です。

日帰りの方はランチや喫茶もおすすめです。街歩きの一休みに、京都の料亭に納められる山江村産の利平栗を使用した「くり~inむブリュレ」は一押し!栗の優しい甘さが疲れを癒します。

また、人吉は温泉郷として様々な泉質を含んだ温泉が点在しており、湯めぐりを満喫できる隠れたスポットです。それに、温泉と言えば球磨焼酎!人吉球磨には28歳の酒造元があり、湯めぐりをしながら酒造元を見学する旅もいかがですか?日頃の疲れを癒す町ひとよし。お立ち寄りの際は、ぜひ町屋旅館一富士をおすすめします。

※今回は、健軍商店街振興組合の有働栄一氏が紹介いたします。

これ、おすすめてす!

「カフェふとりねこ」

ランチ、目玉焼き付きナポリタン、オムライス

今も市民の台所として幅広い年齢層のお客様が訪れる子飼商店街。そんな商店街にカフェを出店して1年、まだまだ新人の「カフェふとりねこ」オーナー矢ヶ部です。

ふとりねこはお年寄りから子供たち、大学の留学生まで、いろいろなお客様が



お見えになります。豊富な食事メニューはわかりやすさ、想像しやすさを考慮して、少し懐かしいものを提供しています。目玉焼き付きナポリタンやオムライス、同じ商店街のトトロ亭のパンを使ったランチなど、どれも材料は子飼でそろえた物ばかり。安全安心でやさしい味を心がけています。みなさんも子飼商店街でゆったりとした時間を楽しんでみませんか?お待ちしております。

※今回は、牛深商店街振興組合 原光生氏が紹介します!



子飼繁栄会商店街振興組合
矢ヶ部 孝志



H.26.2.1 (土)「人吉球磨はひなまつり」in100円商店街 オープニングセレモニー

平成25年度発刊
 商店街各店舗の魅力向上、また新たな再発見のため、一般的な商店街MAPとは違う「ブックレット」の作成で商店街への誘引を図ることができた。

《受講申込み&お問い合わせ先》

発行

熊本県商店街振興組合連合会 熊本市中央区練兵町62 第2ロータリービル3F
 TEL096-353-4666 FAX096-353-4577 E-mail ksr@helen.ocn.ne.jp URL <http://www.kumanet.jp/>